

平成25年度 佐賀市立西与賀小学校 全国・県学習状況調査

1. 目的
 児童の学力や学習状況を把握・分析を行い、成果と課題を検証する検証改善サイクルを確立する。また、指導の充実や学習状況の改善に取り組みます。

2. 実施日 平成25年4月24日(水曜日) 25日(木曜日)
 3. 対象学年 小学校第5.6学年(5年生は、県の学習状況調査)

4. 調査内容
 (1) 5.6年生 児童に対する学習・生活に対する調査

☆教科に関する調査

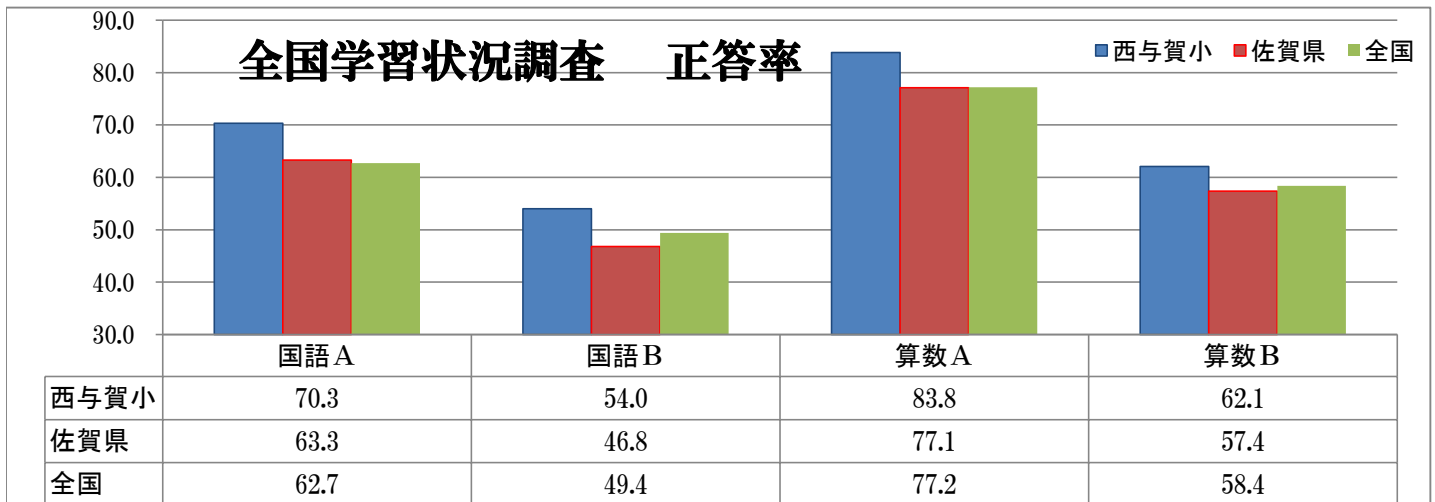
○A問題 ・身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活で常に活用できるようにになっていることが望ましい知識・技能など(主として「知識・技能」に関する問題)を中心とした問題です。

○B問題 ・知識・技能等を実生活のさまざまな場面に活用する力やさまざまな問題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容(主として「思考・判断・表現」に関する問題)を中心とした活用問題です。

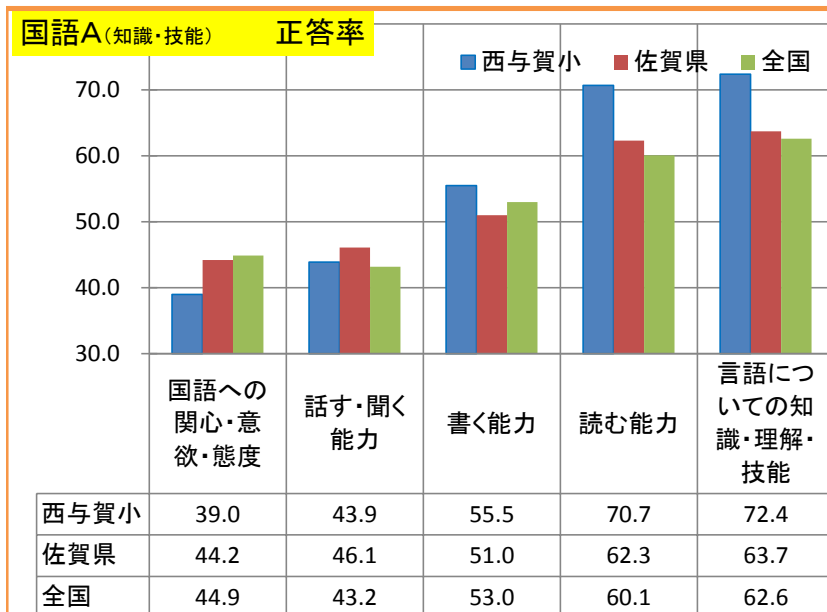
☆児童質問紙調査

○学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する質問です。

全国学習状況調査の正答率 (6年生)



国語における 観点別正答率



・全体では県および全国の正答率を7ポイント以上上回っています。観点別では、書く・読む・言語についての基本的学習内容を、よく理解しているといえます。しかし、関心・意欲、話す・聞く能力では、やや下回っています。スピーチの工夫、「言葉の使い方」に関する問題で資料全体から分かることを書く等の表現する問いに対して、無解答の児童が多かったようです。このことから、言語に対するコミュニケーション能力の向上のためにスピーチタイムを取り入れるなど日常的に話し方、そのための文の組み立て方など繰り返し指導していきます。

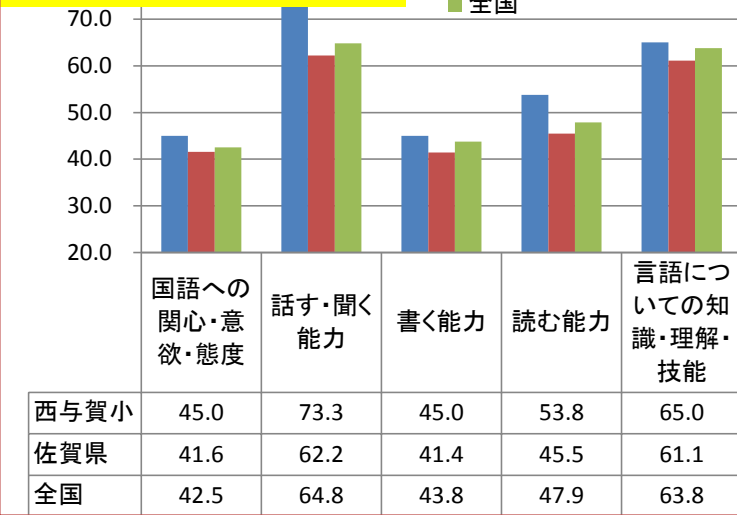
設問別調査結果 [国語A:主として知識]

10ポイント以上良い	5ポイント以上良い	1ポイント以上悪い
------------	-----------	-----------

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点					西与賀小		佐賀県(公立)		全国(公立)	
			態度 国語への 関心・意欲・	話す・ 聞く能力	書く 能力	読む 能力	言語 理解・技 能 について の知識・	正答率 (%)	無解 答率 (%)	正答率 (%)	無解 答率 (%)	正答率 (%)	無解 答率 (%)
1一(1)	漢字を読む (乗り物の差を買う)					○	100.0	0.0	99.2	0.3	98.9	0.5	
1一(2)	漢字を読む (子孫のためにゴミをへらす)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む				○	82.9	0.0	78.3	1.7	79.2	2.2	
1一(3)	漢字を読む (めずらしい植物を採集する)					○	90.2	0.0	73.7	1.8	64.9	3.1	
1二(1)	漢字を書く (魚をさく)					○	80.5	0.0	76.3	4.0	72.4	5.6	
1二(2)	漢字を書く (バスがていしをした)	学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく書く				○	61.0	2.4	46.1	8.7	46.9	11.0	
1二(3)	漢字を書く (委員会をもうける)					○	70.7	7.3	55.6	23.3	53.5	27.4	
2一	ことわざの意味として適切なものを選択する (石の上にも三年)		ことわざの意味を理解する				○	90.2	0.0	74.3	0.6	71.1	1.2
2二	ことわざの意味として適切なものを選択する (急がば回れ)					○	85.4	0.0	86.0	0.7	86.1	1.2	
3一	文のはじめの5文字を丸で囲む	文の定義を理解する				○	41.5	17.1	29.9	23.4	36.5	20.2	
3二(1)	接続語を使って1文を2文に分けて書く	文と文の意味のつながりを考えながら、接続語を使って内容を分けて書く			○	○	41.5	9.8	20.5	10.1	23.4	10.3	
3二(2)	「だから」と同じような働きをする接続語として適切なものを選択する	接続語「だから」のもつ働きを理解する				○	85.4	4.9	82.9	3.0	83.3	3.5	
4ア	「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、年代ごとの割合から分かることを書く	目的に応じて資料を読み、分かったことを的確に書く			○		75.6	14.6	68.6	11.5	72.4	11.9	
4イ					○		65.9	26.8	70.7	17.6	71.3	18.1	
4ウ			「言葉の使い方」に関する資料を読み取り、全体から分かることを書く	○		○		39.0	26.8	44.2	18.6	44.9	20.3
5ア	マナーに関する広告を読み、編集の仕方の特徴をまとめたものとして適切なものを選択する	広告を読み、編集の特徴を捉える				○	68.3	7.3	61.8	6.6	61.1	9.2	
5イ						○	85.4	7.3	74.6	7.3	71.7	10.3	
6アイ	焚火とその周りの景色との関係を表したものととして適切なものを選択する	俳句の情景を捉える				○	58.5	9.8	50.4	10.5	47.5	14.4	
7	選手宣誓文の表現の工夫とその効果を説明したものととして適切なものを選択する	スピーチの表現を工夫する		○		○	43.9	24.4	46.1	17.5	43.2	21.9	

国語B(思考・判断・表現力) 正答率

■西与賀小 ■佐賀県 ■全国



・全ての観点で、県および全国の正答率を上回っています。特に、話す・聞く能力では10ポイントほど上回っています。

・短答式においては、全ての問いにおいて、5ポイント以上上回っており、的確に問題把握ができています。また、短答式での無解答率は低く、自分なりに読み取り、解答しようという高い意欲を持っているからだと考えられます。

・関心・意欲では、3ポイントほど上回っていますが、A問題と同様に自分の考えを具体的に表現することが十分できていません。日常の中にも表現する場面を多く設定していき

設問別調査結果 [国語B:主として活用]

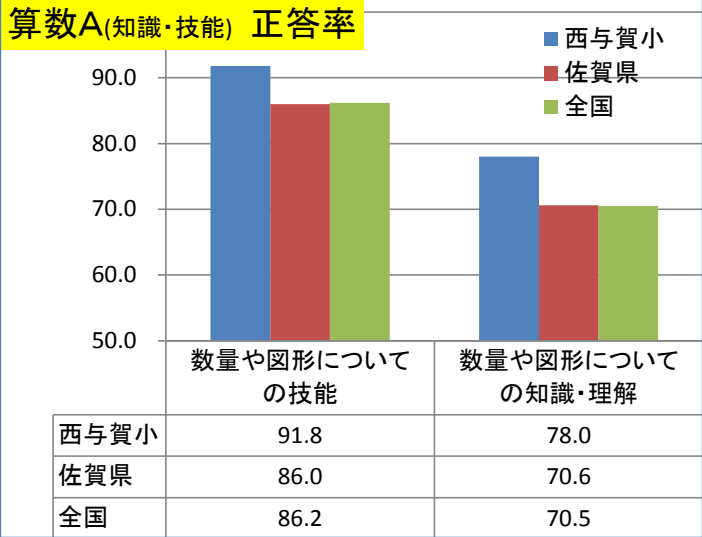
10ポイント以上良い

5ポイント以上良い

1ポイント以上悪い

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点				問題形式			貴校		佐賀県		全国			
			国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての知識・理解・技能	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	
1一	助言の際に6年生がとった対応の説明として適切なものを選択する	相手の立場や状況を感じ取って聞く		○					○			87.5	0.0	77.0	0.8	78.8	1.2
1二	6年生の助言の仕方の説明として適切なものをそれぞれ選択する	話し手の意図を捉えながら聞き、適切に助言をする		○					○			57.5	2.5	43.4	0.7	48.5	1.2
1三	川本さんの助言についての説明を書く	話し手の意図を捉えながら聞き、効果的に助言をする	○	○	○					○		75.0	7.5	66.1	8.2	67.2	9.7
2一	「打ち上げ花火の歴史」という見出しに合わせて必要な内容を書き加える	目的や意図に応じ、必要な内容を適切に書き加える			○				○			65.0	5.0	61.1	3.7	63.8	4.4
2二	【ずかんの一部】の中から花火師の苦勞が具体的に書かれている内容を引用して書く	目的や意図に応じ、必要な内容を適切に引用して書く			○					○		25.0	12.5	21.5	12.7	26.2	13.3
2三	複数の内容を関係付けた上で、自分の考えを具体的に書く	目的や意図に応じ、複数の内容を関係付けながら自分の考えを具体的に書く	○		○					○		15.0	10.0	17.1	18.3	17.8	20.4
3一ア	【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している対象を書く								○			50.0	5.0	46.1	15.1	49.7	15.7
3一イ	【花田さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く	2人の推薦文を比べて読み、推薦している対象や理由を捉える							○			52.5	17.5	44.5	28.4	45.3	28.8
3一ウ	【本間さんが書いたすいせん文】において推薦している理由を書く								○			52.5	17.5	43.7	30.4	44.6	30.6
3二	2人の推薦文を比べて読み、それぞれの読み方として適切なものを選択する	2人の推薦文を比べて読み、読み方の違いを捉える							○			60.0	10.0	47.7	11.5	51.9	10.6

算数における 観点別正答率



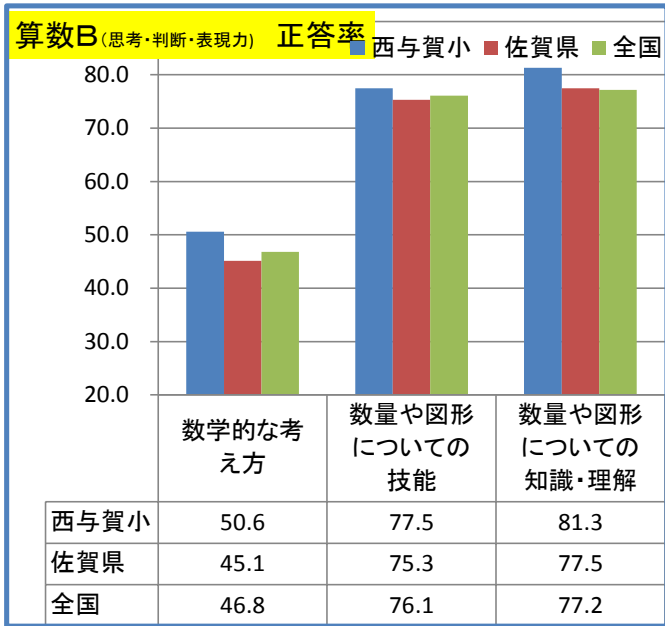
• 全ての問題において、県および全国の正答率を上回っています。特に10ポイント以上上回っているのは、19問中、3問、そして5ポイント以上上回っているのは、7問でした。このことは、5年生までの学習内容が十分に理解できていると考えられます。また、無解答は、ほとんどなく真剣に学習に取り組んでいる成果と考えます。

• 正答率が80ポイント以下の概数の問題や単位量の問題等の7問において家庭学習を含め、繰り返し指導していきます。

設問別調査結果 [算数A:主として知識]

設問番号	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点			問題形式			10ポイント以上良い		5ポイント以上良い		1ポイント以上悪い			
			算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	知識・理解	数量や図形についての知識	選択式	短答式	記述式	貴校 正答率(%)	無解答率(%)	佐賀県 正答率(%)	無解答率(%)	全国 正答率(%)	無解答率(%)
1(1)	243-65 を計算する	繰り下がりのある減法の計算をすることができる			○				90.2	0.0	87.9	0.1	88.2	0.2		
1(2)	0.75+0.9 を計算する	小数の加法の計算をすることができる			○				78.0	0.0	68.4	0.2	71.3	0.3		
1(3)	9.3×0.8 を計算する	小数の乗法の計算をすることができる			○				92.7	0.0	85.0	0.1	83.7	0.4		
1(4)	6÷5 を計算する	商が小数になる除法の計算をすることができる			○				92.7	0.0	88.4	1.0	88.3	1.4		
1(5)	16-(6+3)を計算する	()を用いた整数の計算をすることができる			○				97.6	0.0	94.5	0.5	94.4	0.8		
1(6)	2と5/7+1と1/7 を計算する	同分母の分数の加法の計算をすることができる			○				97.6	0.0	86.0	1.7	88.9	2.1		
1(7)	2/9×4 を計算する	乗数が整数である場合の分数の乗法の計算をすることができる			○				92.7	0.0	91.5	0.7	89.5	1.7		
2	一万の位までの概数にしたときに、20000になる数を選ぶ	示された位までの概数にする際、一つ下の位の数を四捨五入して処理する方法について理解している			○	○			61.0	0.0	60.8	1.3	60.2	1.9		

3	除数と商と余りから被除数を求める式を選ぶ	余りのある除法の場面において、被除数を求める式について理解している					○	○				90.2	0.0	70.0	1.4	71.6	1.8
4	AとBの2つのシートの混み具合を比べる式の意味について、正しいものを選ぶ	単位量当たりの大きさを求める除法の式の意味を理解している					○	○				61.0	0.0	50.1	0.5	50.0	0.8
5(1)	木のまわりの長さを測定する際に用いる計器を適切に選ぶ	曲線部分の長さを測定する際に用いる適切な計器を理解している					○	○				100.0	0.0	98.1	0.2	97.4	0.4
5(2)	1a(1アール)と等しい面積になる正方形の一辺の長さを選ぶ	1a(1アール)の面積と等しい正方形の一辺の長さを理解している					○	○				73.2	0.0	52.4	0.7	52.3	1.1
5(3)	上底3cm, 下底8cm, 高さ4cm, 斜辺5cmの台形の面積を求める式と答えを書く	台形の面積の求め方を理解している					○			○		78.0	0.0	77.3	1.1	73.3	2.1
6	三角形ABCと合同な三角形をかくことができる条件を選ぶ	三角形ABCと合同な三角形をかくために必要な条件を理解している					○	○				65.9	0.0	59.7	0.6	60.7	1.0
7(1)	展開図に示された側面の長方形の縦の辺の長さを書く	円柱について、見取図の高さと展開図の側面の辺の長さとは対応していることを理解している					○			○		92.7	0.0	90.9	1.2	90.6	2.1
7(2)	展開図に示された側面の長方形の横の辺の長さを求める式と答えを書く	円柱について、底面の円周の長さとは展開図の側面の辺の長さとは対応していることを理解している					○			○		68.3	2.4	65.4	4.1	66.3	5.7
8(1)	200cmの50%に当たる長さを選ぶ	割合が50%のとき、基準量と比較量の大きさの関係を理解している					○	○				85.4	0.0	75.0	1.6	76.7	2.2
8(2)	500gの120%に当たる重さについて、適切なものを選ぶ	割合が100%を超えるとき、基準量と比較量の大きさの関係を理解している					○	○				82.9	0.0	77.0	2.2	76.9	2.8
9	最小目盛りが2に当たる棒グラフから、借りた本の冊数が一番多い曜日とその曜日に借りた冊数を書く	棒の長さと最小目盛りに着目して、数値が最も大きい項目とその数値を読み取ることができる					○			○		92.7	0.0	86.2	2.2	85.7	2.8



・全ての観点において、県・全国の正答率を上回っています。特に知識・理解において80ポイントを上回っており、よく理解しているといつてよいと思います。

・数学的な考え方では、正答率が、50ポイント程度でした。特に記述式の5つの問題の中で、3間は50ポイントを下回っていました。できるだけ多くの適応問題に取り組み、判断した理由を文や図等で数学的に説明していく学習に取り組みます。

・正答率90ポイントを超えている問題は、数量や図形でした。いくつかの情報を正しく活用し、解答を導くことができていました。これは、本校において電子黒板などのICTによる視覚的支援が効果的にできているためであり、今後とも続けていきます。

設問別調査結果 [算数B:主として活用]

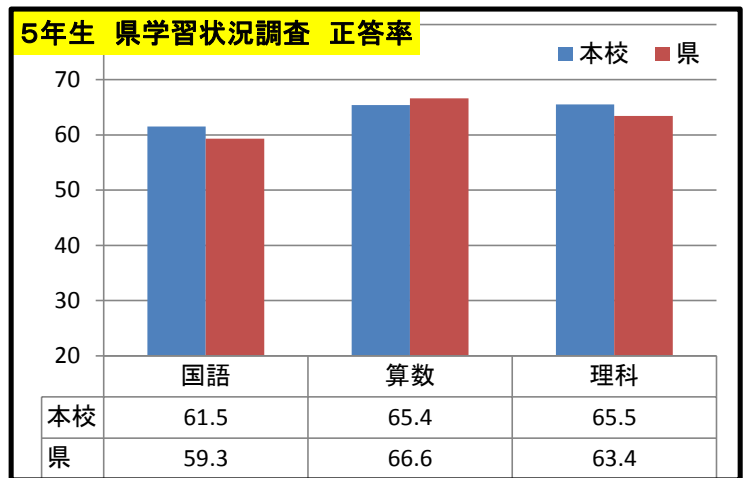
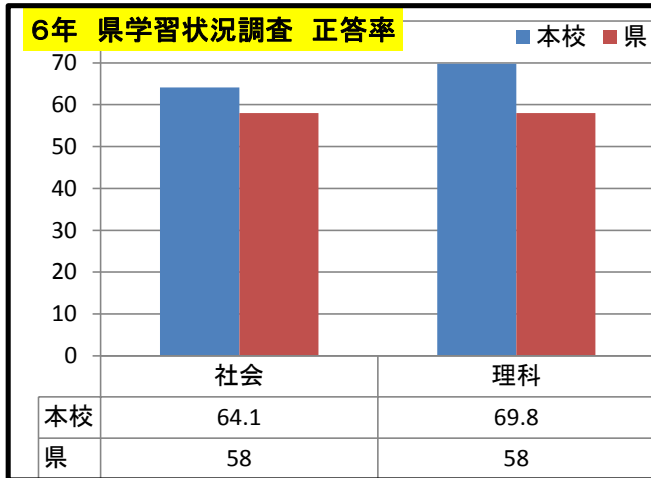
設問番	設問の概要	出題の趣旨	評価の観点			問題形式			貴校		佐賀県(公立)		全国(公立)		
			算数への関心・意欲・態度	数学的な考え方	数量や図形についての技能	数量や図形についての知識・理解	選択式	短答式	記述式	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)	正答率(%)	無解答率(%)
1(1)	残りの乗り物券の枚数と乗る予定の乗り物を基に、二人がまだ乗る予定になく一緒に乗ることができる乗り物を書く	情報を整理し、筋道を立てて考え、三つの条件全てに当てはまる乗り物を判断することができる		○					52.5	2.5	48.4	2.2	51.0	3.1	
1(2)	三つの乗り物券の買い方を比較して、どの買い方が一番安いかを選択し、そのわけを書く	三つの買い方の中から最も安くなる買い方を選択し、その理由を記述できる		○					47.5	0.0	49.6	0.6	50.8	0.9	
2(1)	示された式の値が何を表しているのかを書く	示された平均を求める式から、その計算の結果が何を求めているのかについて理解している				○		○	57.5	0.0	51.8	2.0	51.7	3.4	
2(2)	正しく測定できなかった結果を除いて平均を求めるときの正しい式を選ぶ	飛び離れた数値を除いた場合の平均を求める式を選択することができる				○		○	77.5	0.0	76.6	0.7	75.6	1.3	
2(3)	示された実験の結果から、ふりこの長さ10往復する時間が比例の関係になっていないことを表の数値を基に書く	表から数値を適切に取り出して、二つの数量の関係が比例の関係ではないことを記述できる		○					42.5	15.0	34.2	16.6	35.2	19.0	

3 (1)	三人の児童の説明に対応する、長方形を4等分した図をそれぞれ選ぶ	図に示された分割の仕方とその説明とを対応させることができる					○	○			95.0	0.0	86.9	0.5	87.3	0.8
3 (2)	示された分け方が元の長方形を4等分していることの説明として、二つの三角形の面積が等しいことを書く	示された分け方で二つの三角形の面積が等しくなることを記述できる							○		55.0	10.0	42.7	12.9	42.7	15.6
3 (3)	4等分になるための条件の中で、台形では当てはまらないわけを選ぶ	長方形と台形の分割の仕方を比べて、台形の場合は4等分にならないわけを選択することができる									57.5	2.5	52.7	3.0	56.3	3.6
4 (1)	ワールドカップ後の1試合当たりの観客数がワールドカップ前の1試合当たりの観客数の約何倍になるのかを求める方法と答えを書く	単体量当たりの大きさなどに着目して、二つの数量の関係の求め方を記述できる								○	47.5	5.0	41.8	10.2	43.1	11.4
4 (2)	5列10番の座席の位置を基に、2列4番の座席の位置を表す	示された情報から二つの要素の意味を解釈し、ものの位置を特定することができる									95.0	2.5	94.6	2.1	94.2	2.6
4 (3)	示された式を基に北チームの勝ち点の合計を求める式を書き、勝ち点の合計と順位を書く	示された式に数値を当てはめて計算し、計算の結果の大小を基に判断することができる									50.0	2.5	48.1	6.8	50.6	7.4
5 (1)	棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフの説明に対して、その説明がグラフのどの期間を示しているのか、正しいものを選ぶ	棒グラフと折れ線グラフの両方が示されたグラフから、必要な情報を読み取ることができる									77.5	2.5	75.3	4.8	76.1	5.1
5 (2)	帯グラフに示された割合と基準量の変化を読み取り、インターネットの貸出冊数の増減を判断し、そのわけを書く	割合が同じで基準量が増えているときの比較量の大小を判断し、その判断の理由を記述できる									52.5	10.0	43.6	7.9	44.4	7.8

平成25年度 佐賀県学習状況

6年生 県学習状況調査 社会・理科 各設問の正答率

5年生 県学習状況調査 国語・算数・理科 各設問の正答率

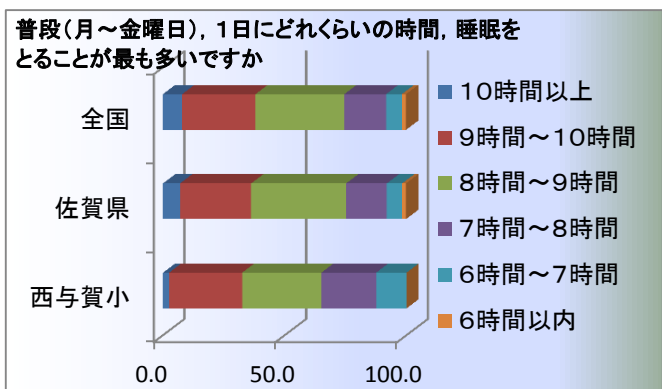
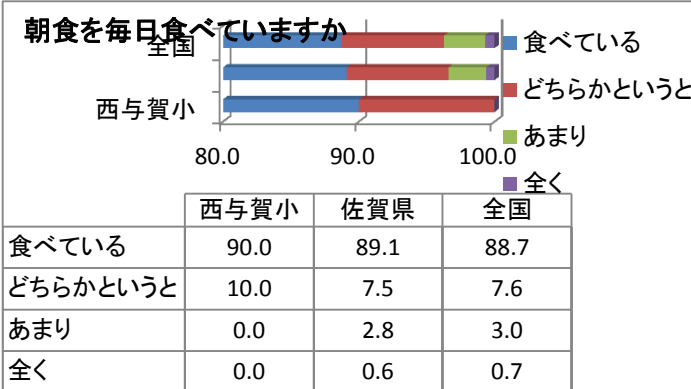
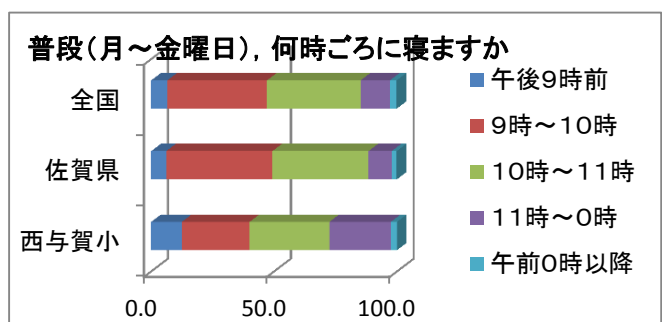
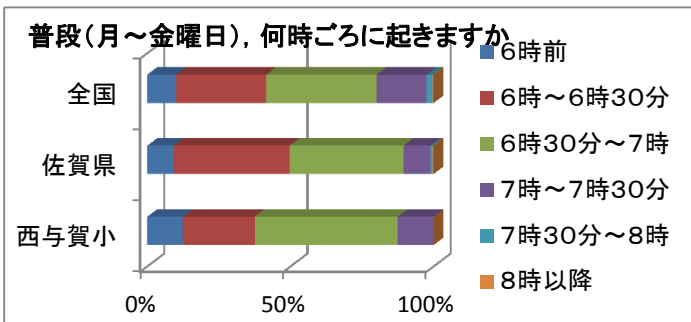


・6年生においては、県平均を大きく上回っています。正答率から学習内容の定着が十分できているとはいえないようです。国語・算数での小テストだけでなく、社会や理科においてもタブレットPCを活用し、小テストにも取り組み、より確かな学力の定着を図っていきます。また、授業の中では、グラフや表などの資料から、読み取る力を高めるために、仮説を立て、その理由を考え、そして表現する力を育てていきます。そのために、個々の思考を表現できる学習過程の工夫に取り組んでいきます。

・5年生では、国語、理科において県の平均を上回っています。算数では、県平均をやや下回っています。正答数分布グラフでは、十分理解できている集団と理解が不十分と思われる集団の2つのグループに分かれる傾向が見られました。そのため、算数の授業では、学習内容の理解や定着率をより高めるために、個々の児童の学び方にあった支援ができる、習熟度別や興味・関心別などの少人数授業に計画的に取り組んで

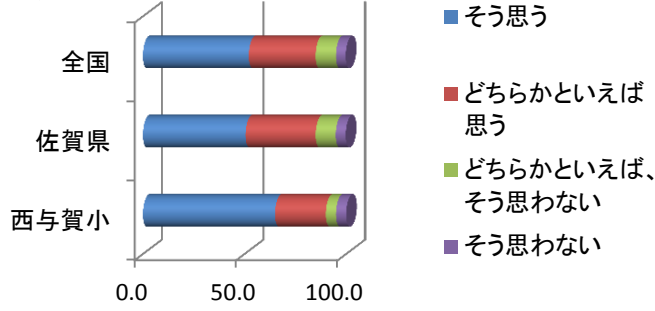
意識調査

基本的生活 睡眠時間で6時間～7時間の割合が多く、就寝時間との関係であり、健康面から家庭と連携し改善していく。



学校生活 よいところがあると思いますかでは、ないと回答した割合が高い。自己肯定をもてるような指導をしています。

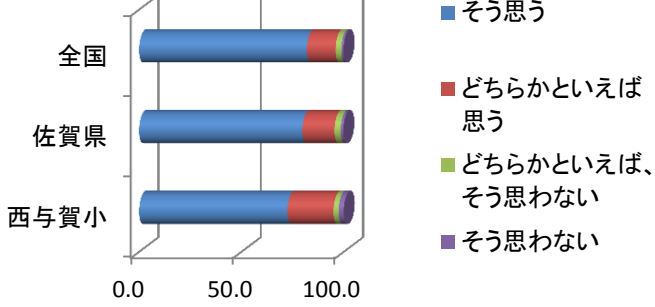
学校に行くのは楽しいと思いますか



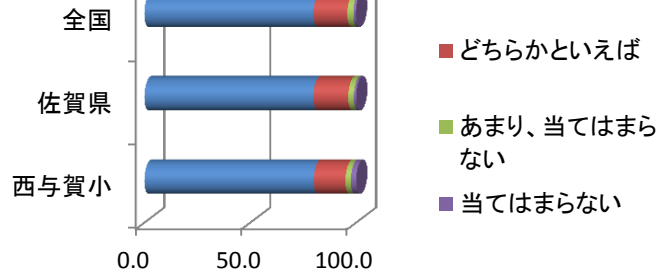
自分には、よいところがあると思いますか



学校で友達に会うのは楽しいと思いますか

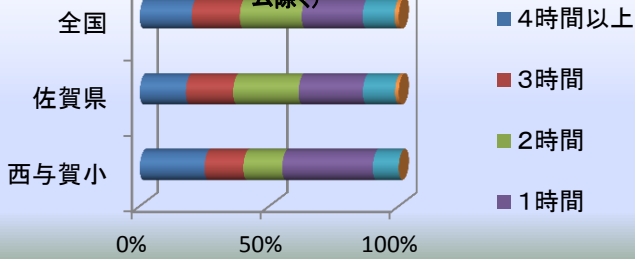


いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

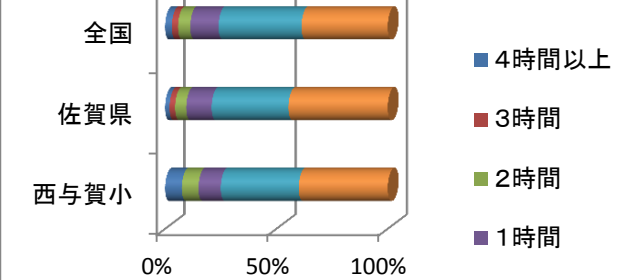


遊び 4時間以上のテレビ・ゲームの割合が高い。健康面もあり、家庭と連携し改善策を探っていく。

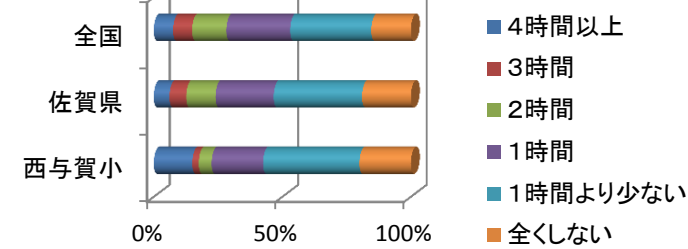
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか(テレビゲーム除く)



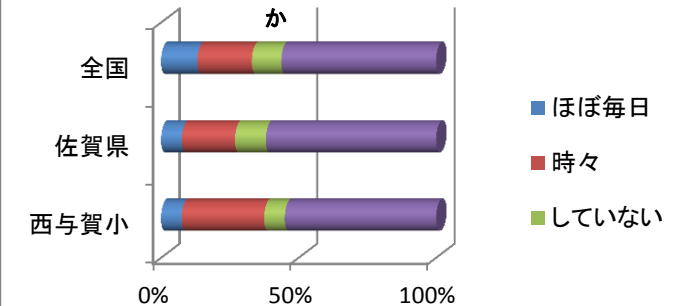
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、インターネット(携帯電話やスマートフォンを使う場合含む)をしますか



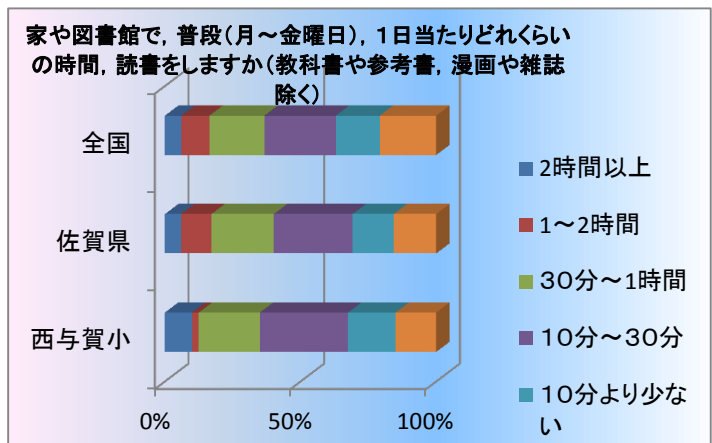
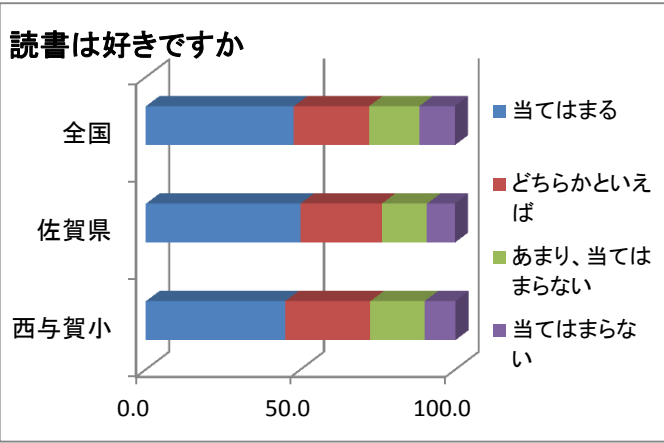
普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、テレビゲーム(コンピュータゲーム、携帯式のゲーム含む)をしますか



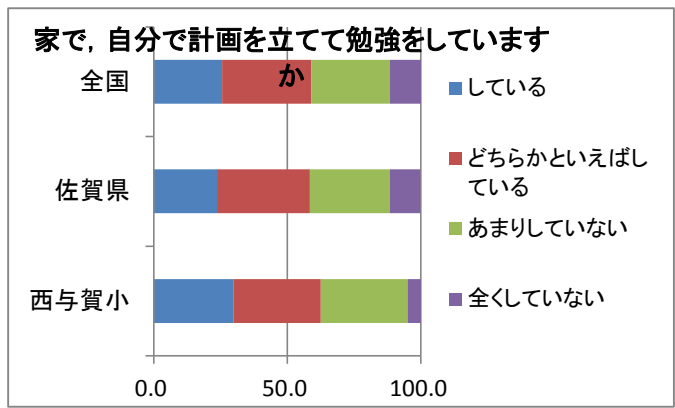
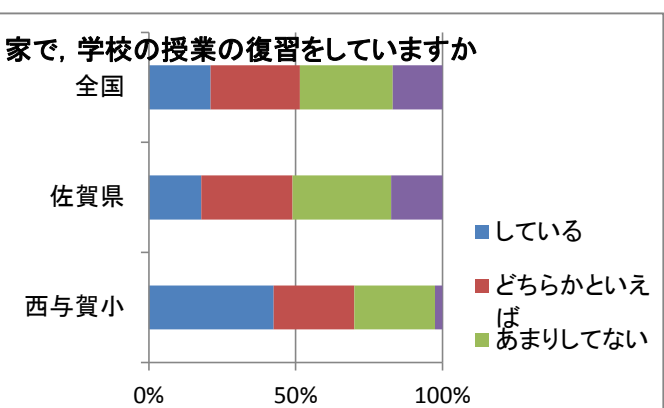
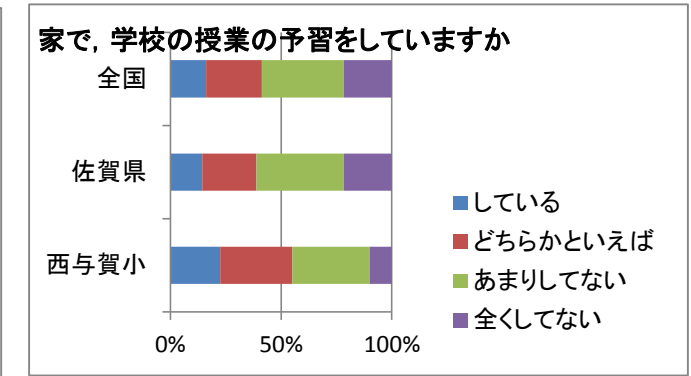
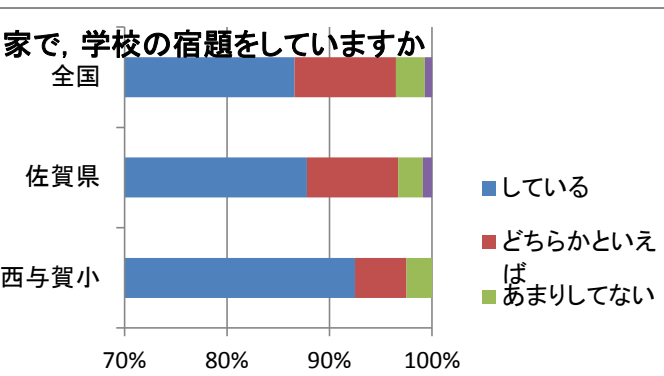
携帯電話やスマートフォンで通話やメールをしていますか



読書 ほぼ全国・県と同じ割合といえてよいが、平日に1時間以上読書する割合が低い。

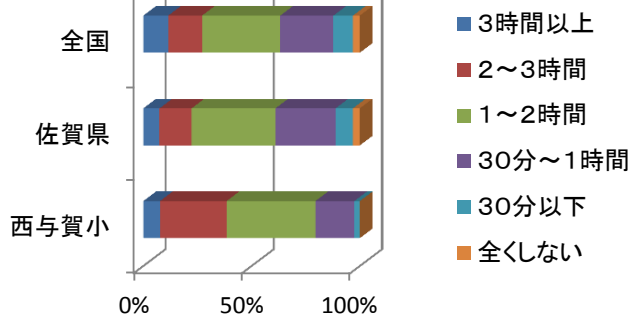


家庭での学習 宿題を約束事として提出している。 家庭学習はよい傾向にあるといえる。

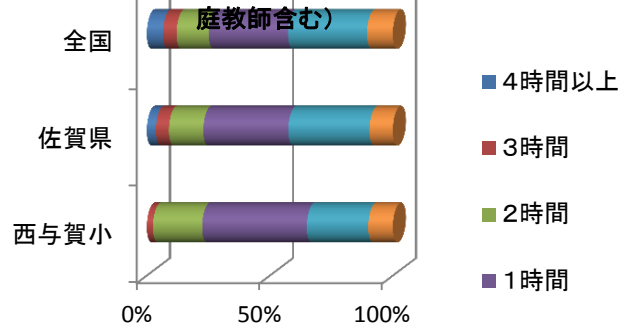


家庭学習と興味・関心

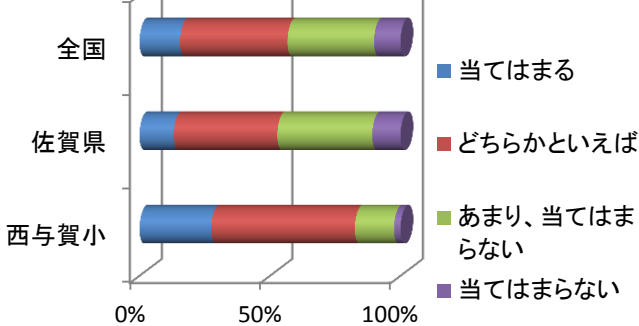
学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)



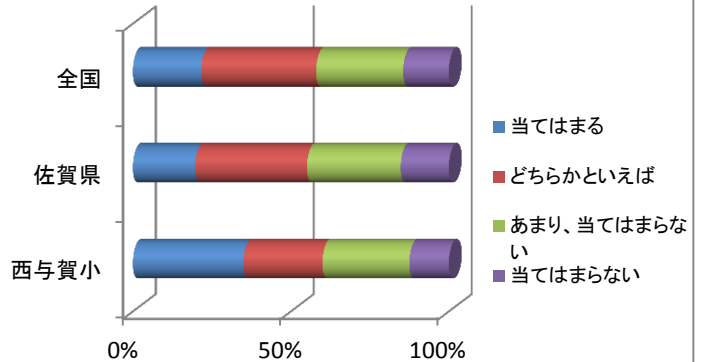
土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか(学習塾や家庭教師含む)



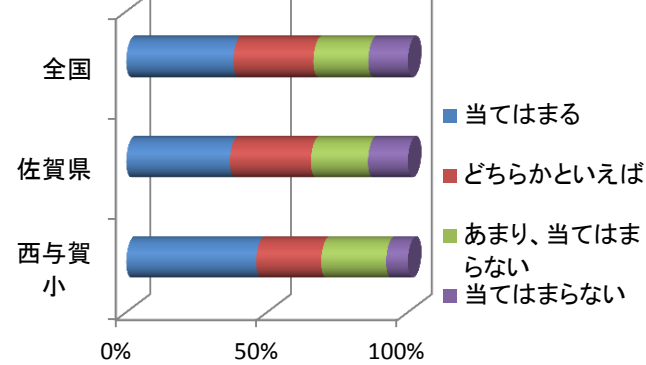
普段の授業では、本やインターネットを使って、グループで調べる活動をよく行っていると思いますか



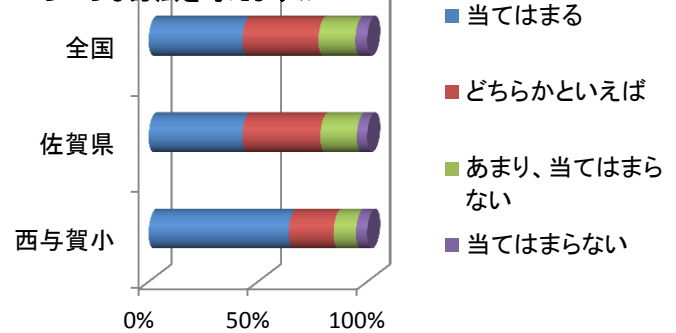
国語の勉強は好きですか



算数の勉強は好きですか



算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考えますか



全体的に、学習に取り組む態度は良好である。国語、算数においては、学習に対する興味・関心も高く、学習意欲にもつながっている。特に算数において諦めずに取り組む割合が高いのもそのためと思われる

しかし、健康面を含め、・就寝時間が遅い ・テレビ等の視聴の時間が長い ・睡眠時間が短いなど保護者の理解を得ながら、生活習慣の改善に取り組んでいく必要がある。